

## 会議等経過報告書

1 件 名	令和2年度第3回大船渡市立図書館協議会（書面開催）
2 日 時	令和3年2月18日（木）から令和3年3月3日（水）まで
3 委 員	上関みさ会長、佐々木一義副会長、今野美彌子委員、藤村敏夫委員、白木澤京子委員、鈴木博委員

### 会 議 等 の 内 容

#### 4 協議事項

報告第1号 市立図書館への指定管理者制度の導入について

報告第2号 図書館蔵書管理システムのIC化について

報告第3号 移動図書館車「かもしか号」の更新について

協議第1号 令和3年度図書館事業計画（案）について

そ の 他 市立図書館における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

#### 5 書面開催の概要

協議事項について、令和3年2月18日から令和3年3月3日までの期間、6人の委員全員から回答が得られ、報告第1号から報告第3号までの回答はすべて「了承」であり、協議第1号の回答はすべて「同意」であり、原案のとおり決定した。

なお、協議事項に対する意見等については、別紙「第3回大船渡市立図書館協議会（書面開催）に寄せられたご意見等について」のとおりである。

## 第3回大船渡市立図書館協議会(書面開催)に寄せられたご意見等について

令和3年3月22日

大船渡市立図書館

### ○上関会長

(指定管理者制度の導入について)

- ① 「大船渡市行政改革実施計画(案)」をふまえて、より良い方向で導入すべきと考える。
- ② 導入により、市民のニーズに応じたサービス、図書館運営事業、読書推進事業等をさらに高める方向としたい。
- ③ 司書資格を有する人材は多いと思うが、全員が精通しているとは限らないので、育成・研修が重要だと思う。
- ④ 令和4年度からの指定管理者と同6年度からの指定管理者は同一か。または複数を用意しているのか。

### ○藤村委員

- ① 職員、司書の増員を望みます。現時点では、現職員の負担が大きいと考えます。
- ② 指定管理制度にした場合でも、市側から運営にコントロールが効くような体制を望みます。
- ③ 開かれた図書館として、円滑な運営にするため、次のことを考えました。

読書ボランティアはあるものの、資料の収集・整理を手伝うサポーターがいなければ、「図書館サポーター制度」をつくってはどうか。(内容は検討する)

専門の司書を雇えない状況であれば、定期的な蔵書整理に活用できるような工夫をしなければならぬのではないかと。

### ○白木澤委員

- ① 報告第1号(市立図書館への指定管理者の導入)について  
職員体制の変化やIC化に伴い、利用者がどのように感じているのかについて、アンケートなど何らかの形で利用者の声を確認していく必要があるのではないかと思います。  
行政が利用者のサービス向上と行って行っていることが、利用者にとってマッチしているかを確認していくことが、指定管理者導入への市民の理解を得るうえでも大切ではないかと思います。  
また、行政、市民それぞれの立場から見たメリット、デメリットの検証を行うことで、図書館に求められている「大船渡らしさ」を確認し、よりよい指定管理業者職員の配置が得られるのではないかと思います。  
さらに、仮に、司書を複数確保でき、仕事に余裕がある場合には、小・中学校図書館への臨時的な派遣や図書館担当教諭との研修会など、市立図書館以外での活動をお願いし、読書の推進につなげることはできないかとも考えています。
- ② 報告第2号(図書館蔵書管理システムのIC化)について  
IC化において、その目的がどのように達成されたか、効果を検証してほしいと思います。
- ③ 協議第1号(令和3年度図書館事業計画(案))について  
4月からのIC化に伴い、IC化への理解と「セルフ貸出・返却機」利用の周知を行いながら、図書館サービスについて市民(特に新規利用者や転入者)向けにパンフレットなどで案内したほう

がよいのではないかと思います。

また、パンフレットの内容や図書館利用の感想(よい点・悪い点など)についてのアンケートを行いながら、利用者の声を生かした図書館運営をお願いしたいと思います。